



子供の学びと、保護者の休暇を組み合わせた、平日だからこそできる学校外での学びを、ぜひ子供と一緒に計画してみませんか。

1 計画を立てる

子供と一緒に、「ラーケーションの日」の計画を立てる。

ラーケーションは、①保護者と一緒に、②体験や探究の学び・活動です。そのため、①②を満たす活動がラーケーションということになります。「ラーケーションの日」活動事例集」や、「学びのキーワード」などを参考に、子供と話し合い、「何を学ぶか」をはっきりさせて計画してください。身近な場所にも、学びの種はたくさんあるはずです。

2 届け出る

(例)●●アプリ、連絡帳、電話で、学校に届け出る。

3 ラーケーション

子供と一緒に、校外で体験や探究の学び・活動を行う。

4 振り返る

学んだことについて子供と話し合ったり、次回の計画を考えたりする。

※ 詳しくは学校から配付されている保護者用リーフレットで御確認ください。

「ラーケーションの日」お役立ちサイト

CLICK!



「ラーケーションの日」ポータルサイト



「ラーケーションの日」保護者用リーフレット



「ラーケーションカード」(小中学生用)

愛知県のWebページ「ラーケーションの日」ポータルサイトには、様々な学びを体験できるスポットや、「ラーケーションの日」の計画づくりに活用できる「ラーケーションカード」などを紹介しています。

ぜひ参考にしてください。

愛知発の新しい学び方

「ラーケーションの日」活動事例集

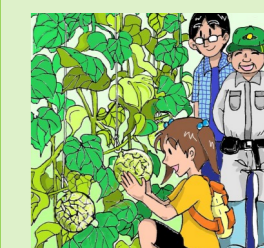
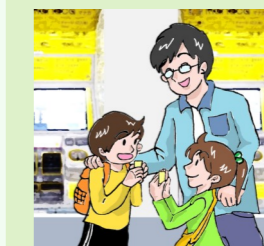


愛知県では、子供たちの主体的な学び・体験的な学びを応援するため、「ラーケーションの日」を設けています。

このリーフレットでは、県内から集まった活動事例を紹介しています。「ラーケーションの日」の活動がより充実したものとなるよう参考にしてください。

※「ラーケーションの日」とは…

学校外での学習活動を家庭で子供と一緒に計画し、実行する日(子供の学び[ラーニング]と保護者の休暇[バケーション])で、年に3日まで取得することができます。



■ 学びのキーワード ■

自然・科学・環境・実験・観察・産業・スポーツ・文化・芸術・歴史・地理・伝統芸能・国際理解・福祉・SDGs・見学・創作・鑑賞・キャリア…

令和6年10月

愛知県教育委員会

ラーケーション 活動事例

学校ではできない体験や探究活動を通して、学びを深める子供たちの姿が広がっています！

学校ではできない体験から学ぶ

初めて切符を買ったよ



家族で科学館に見学に行きました。電車の切符を自分で買い、切符を管理することにもチャレンジしました。

仕事参観をしました



お母さんの職場を訪問しました。職場の方と名刺交換をした後は、工場の中を見学したり、仕事の内容を教えてくださいました。

満天の星空に感動



緑に囲まれた山の中で自然を満喫しました。標高が高く、素晴らしい星空でした。初めて見る満点の星空に子供と一緒に感動しました。

海の仕事に興味をもったよ



フェリーで父親の母校である商船高校へ家族で行ってきました。フェリーはなかなか乗らないので、とても楽しんでいました。海の仕事にも興味をもったようです。

家族限定イベントに参加



潜水艦救難艦の特別公開乗船に行ってきました。一般公開前の家族限定イベントで平日開催だったので、ラーケーションの日を活用しました。

店員体験をしたよ



ハンバーガーショップでの店員体験は人気で、休日の予約は困難だったため、ラーケーションの日を活用しました。丁寧に対応してもらえ、子供も楽しんでいました。

興味のあることを探究する

石や宝石に興味津々



子供が石や宝石に興味をもっていたので、一緒に石の博物館に行きました。色んな石があること、宝石の原石の状態などを見せて教えることができました。

じっくりと体験・観察



化石研究体験で、頭骨復元、化石クリーニング、3D化石観察をしてきました。平日のため、じっくり観察したり、ゆっくり説明文を読むことができ、好きなことをとことん学んでいました。

発見を自分の言葉で伝える

博物館で恐竜の大きさや特徴を学びました。体験を通して、何が楽しかったのか、驚いたことは何かなど自分の言葉でまとめ、発表してもらいました。ことばで伝える難しさも学ぶことができました。

興味や関心を高める

七宝焼体験での驚き



七宝焼体験と見学をしました。七宝焼は金属製ということを知り、びっくりしていました。30分くらいの体験は、とても楽しかったです。

災害から学ぶ



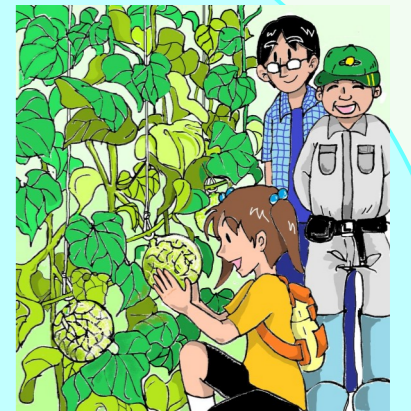
淡路島と神戸の震災記念館を訪問しました。阪神淡路大地震について学び、地震の恐ろしさを知り、対策について家族で話し合いました。

なぜ絶滅危惧種なの



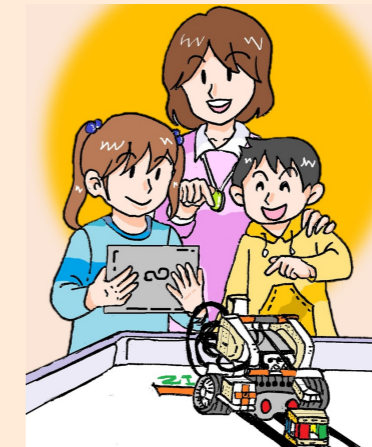
ラッコがなぜ絶滅危惧種なのか水族館で学びました。日本では、この水族館にしかない人魚伝説のモデルのジュゴンにも会ってきました。

おいしいメロンを育てたい



小学校1年生の子供がメロン好きで、メロン栽培をしています。そこで、おいしくするためのコツを調べに渥美半島に行きました。実際の栽培方法を教えてもらい、同じように育てて、おいしいメロンづくりに挑戦しています。

プログラミングに挑戦



ロボットを動かすプログラミングに初めて挑戦し、自分で考えて動かす体験を楽しんでいました。また、大好きなブロックがどのように作られているのかを見学して学びました。

初めてのろくろ体験



陶芸体験をしました。ゆう薬も何種類もある中から選んで焼き上がりが楽しみです。街並みの見学と合わせてよい学びができました。

愛知発の新しい学び方

「ラーケーションの日」

ラーニング バケーション
Learning (学び) + Vacation (休暇)



愛知県では、未来につながる家庭での主体的な学び・体験的な学びを応援するために、昨年度、「ラーケーションの日」を設けました。

子どもの学び(ラーニング)と、保護者の休暇(バケーション)を組み合わせた、平日だからこそできる学校外での学習活動を、ぜひ子どもと一緒に計画してみませんか。

令和6年3月
愛知県教育委員会
安城市教育委員会

ラーケーションの日とは

愛知県全体の「休み方改革」プロジェクトの中で生まれた「ラーケーションの日」は、

子どもが保護者等とともに、平日に、校外(家庭や地域)で、体験や探究の学び・活動を、自ら考え、企画し、実行することができる日です。

校外での自主学習活動であるため、学校に登校しなくても欠席とはならず、「出席停止・忌引等」と同じ扱いとなります。保護者等の休暇に合わせ、年に3日まで取ることができます。

ラーケーションの日 活動例

「学びのキーワード」や、下記の活動例を参考に、「何について学ぶか」を事前に子どもと話し合うことから「ラーケーションの日」は始まります。学校外でしかできない学びを、子どもと一緒に計画しましょう。

■ 学びのキーワード ■

自然・科学・環境・実験・観察・産業・スポーツ・文化・芸術・歴史・地理・伝統芸能・国際理解・福祉・SDGs・見学・創作・鑑賞・キャリア…

再発見！ 地域の史跡を巡ろう

平日は史跡をじっくり見学したり、ガイドさんから詳しく話を聞いたりできます。

地元や近隣にも意外と史跡はあるものです。



見つけた！ 公園の植物を調べよう

庭や公園で見つけた植物について親子で一緒に調べてみましょう。

学びのきっかけは身近なところにもたくさんあるはずです。



収穫の喜び 家族と収穫体験をしよう



私たちが口にしている野菜は、どのように育てているのでしょうか。収穫体験など、ふだんできないことを家族で体験してみましょう。

親子で芸術家 お互いのよさを比べ合おう



素敵な風景は自宅から近いところにもあふれています。家族みんなで絵をかき、お互いのよさを比べてみましょう。

五感を使って 自然と仲良くなろう

景色を味わう、鳥の声を聴く、空気をを感じる…みんなで、自然に親しんではどうでしょう。

自然から学ぶことはたくさんあります。



気分はシェフ 授業で学んだことを生かそう

家庭科の授業等で学んだことを生かし、料理に挑戦しましょう。

家族だけのオリジナルレシピが完成するかもしれません。



ラーケーションの日 届け出の流れ

1 計画を立てる

子どもと一緒に、「ラーケーションの日」の計画を立てる。

計画すること

- ① 活動する日 ② 活動する場所 ③ 学ぶこと

<留意すること>

- 年に3日まで取ることができます。
- 保護者等と一緒に活動する必要があります。
- 受けられない授業の内容は、家庭で自習をします。
- 身近な場所にも「学びの種」はありますので、必ずしも遠くに出かける必要はありません。

※ 県の Web ページ「ラーケーションの日」ポータルサイトには、計画づくりに活用できる「ラーケーションカード」や、様々な学びを体験できるスポットを紹介していますので、参考にご覧ください。



「ラーケーションの日」ポータルサイト

2 届け出る

事前にラーケーションカードを学級担任へ提出する。

<留意すること>

- 原則、14日前までの届け出が必要です。
安全な学校給食の提供のため、食材の確保や食品ロスの観点等から届け日を設定しています。なお、届け出は前日まで可能です。
- 「ラーケーションの日」を取ることができない日、期間はありません。
各校の年間計画表や月予定表等で、学校行事の日や定期テスト期間について、予めご確認いただき、各家庭にてご判断ください。

3 ラーケーション

子供と一緒に、校外で体験や探究の学び・活動を行う。

4 振り返る

学んだことについて子供と話し合ったり、次回の計画を考えたりする。



Q1 愛知県は、どうして「ラーケーションの日」を作ったのですか。

A1 愛知県「休み方改革」プロジェクトでは、県全体のワーク・ライフ・バランスの充実と生産性向上による地域の活性化を目指しており、その一環として「ラーケーションの日」が生まれました。総務省の調べでは、土曜日に働いている方が約45%、日曜日に働いている方が約30%おられ、休みの日に子供と一緒に過ごすことが難しいご家庭が少なくありません。そうしたご家庭でも、平日に、子供と一緒に学び、活動することができるよう、「ラーケーションの日」を作りました。

Q2 「ラーケーションの日」を連続して取ることはできますか。また、残った日数は、次の年に繰り越すことはできますか。

A2 「ラーケーションの日」を連続して取ることはできますが、残った日数を次年度に繰り越すことはできません。

Q3 「ラーケーションの日」に、どこかへ旅行に出かけてもよいのですか。

A3 ラーケーションは、ラーニング(学び) + バケーション(休暇)ですので、学びの要素が必要です。学びの要素があれば、旅行に出かけることもできますが、大切な授業の代わりの活動ですので、家庭でよく話し合っけて計画を立ててください。なお、どこかへ出かけなくても、ラーケーションは可能です。

Q4 どのような活動であればラーケーションになるのですか。

A4 ラーケーションは、①保護者と一緒に行く、②体験や探究の学び・活動です。そのため、①②を満たす活動がラーケーションということになります。「ラーケーションの日 活動例」や、「学びのキーワード」などを参考にして、子供と話し合い、「何を学ぶか」をはっきりさせる必要があります。身近な場所にも、学びの種はたくさんあるはずですよ。

Q5 昨年度と比べて変わった点がありますか。

A5 ラーケーションカードの届出期限が変更となりました。これは、事前に食材の発注を完了させる必要があるためです。なお、「ラーケーションの日」の届け出そのものについては、前日まで可能です。ただし食品ロスの削減の観点から、可能な限り期限内での届け出にご協力ください。また、「ラーケーションの日」取得の取り消しは、当日でも可能です。しかし、取り消しをされる場合は、食材の確保等、安全な学校給食の提供が困難となるため、弁当を持参ください。

<お問い合わせ先>

- | | | | |
|-------------|-----------|-------|--------------|
| ■ 制度全般に関する事 | 愛知県教育委員会 | 義務教育課 | 052-954-6799 |
| ■ 届け出等に関する事 | 安城市教育委員会 | | 0566-71-2254 |
| | 安城市立明祥中学校 | | 0566-92-0019 |

ラーケーションカード

「ラーケーションの日」は、子供が保護者等とともに、平日に、校外(家庭や地域)で、体験や探究の学び・活動を自ら考え、企画し、実行することができる日です。

1 確認する

<確認して、□にを入れましょう>

- 「ラーケーションの日」の意義を理解しました。
- 保護者等と一緒に活動します。
- 取得できない日はありません。学校行事等の確認をしました。
- 学校で受けられない授業の内容は、家庭で自習をします。
- 取得の取り消しを行う場合は、安全な学校給食の提供が困難となるため、弁当の持参となります。



2 計画を立てる

- ・活動する日：
- ・活動する場所：
- ・学ぶこと：

「ラーケーションの日」を取るのは、

日 月 日
(年間3日まで)

() 学校 () 年 () 組 () 番

保護者氏名 ()

児童生徒氏名 ()

3 届け出る

取得予定の14日前までに学級担任へ提出します。

届出日

月 日